

2026 年度

入学試験問題

地歴・公民

〔歴史総合，世界史探究〕

2月4日

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで，この問題冊子を開かないこと。
2. この冊子は9ページある。
3. 解答用紙はマークシート式解答用紙1枚で，別に配付する。
4. 本冊子に脱落，印刷不明瞭がある場合は，本試験中に試験監督者に申し出ること。
5. この教科を事前に申込みしていない場合は，受験できない。
6. 受験する教科は受験票に記載してある教科で，本日教科の変更はできない。
7. マークシート式解答用紙の記入上の注意
 - ①マークシート式解答用紙の解答欄は45問までであるが，問題の中にある設問数まで解答すること。(問題の中にある の数字が解答番号に対応している)
 - ②解答には，黒鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
 - ③一度記入した解答を訂正する場合は，消しゴムで完全に消してから記入しなおすこと。
 - ④解答用紙を折り曲げたり，破ったり，汚したりしないこと。
 - ⑤解答欄への記入は，マークシート記入例にしたがって，正確にマークすること。
8. 上記の注意を守らない場合は，採点できないことがある。
9. 試験終了後，問題冊子は持ち帰ること。

1 次の一覧表を見て、以下の問いに答えよ。

国名	(A)	無償供与
ビルマ（ミャンマー）	720億円	684億円
フィリピン	1980億円	
(B)	803.1億円	636.9億円
(C)		1080億円

問1 一覧表は、日本が行った戦争や植民地支配に関わるものである。(A)に入る言葉として最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1

- ① 補償
- ② 賠償
- ③ 政府開発援助
- ④ 役務

問2 (B)に入る国名として最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。(B)は、日本軍が戦争中に資源確保のため空挺部隊（落下傘部隊）を投入した攻撃作戦を行った国でもあり、今日でも日本は天然ガスを輸入するなど関係は深い。

2

- ① インド
- ② ベトナム
- ③ マレーシア
- ④ インドネシア

問3 (C)に入る国名として最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。(C)との交渉は1965年の基本条約締結まで続いた。途中、日本側がかつての支配には悪い面もあったがよい面もあったという趣旨の発言をしたため、会談は10年に渡りとん挫した。

3

- ① 台湾
- ② 中国
- ③ 韓国
- ④ シンガポール

問4 戦後80年を経過した今日まで、日本の戦争や植民地支配をめぐり、国際法上、解決をみていない国がある。その国名の名称として最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

4

- ① 韓国
- ② 中国
- ③ モンゴル
- ④ 北朝鮮

2 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ギリシア人は、人間中心の合理的な精神と市民が対等に議論するポリス社会に基づいて独自の文化を育んだ。ギリシア文学の嚆矢は、前8世紀にホメロスやヘシオドス⁽¹⁾がまとめた叙事詩であり、人間のような感情をもった神々が人間に働きかける姿が描かれている。その後、一方では自然現象を合理的な根拠で説明する自然哲学⁽²⁾がうまれたが、他方で前5世紀以降、民主政のアテネでは悲劇や喜劇が競演され、多くの劇作家が輩出した。⁽³⁾

ヘレニズム時代⁽⁴⁾には多くのギリシア人がオリエントの各地に移住し、ギリシアとオリエントの文化が融合してヘレニズム文化がうまれた。この文化では、ポリスの枠を超えた世界市民主義や個人主義が知識人のあいだでめばえた。また、ヘレニズム時代にはギリシア語が共通語となり、ギリシアとオリエントの科学がギリシア語で集大成されて発達し、とりわけ自然科学では多くのすぐれた科学者が現れた。⁽⁵⁾⁽⁶⁾

問1 下線部(1)の作品として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

5

- ① 歴史
- ② 神統記
- ③ オデュッセイア
- ④ イリアス

問2 下線部(2)の発達した地方として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

6

- ① トラキア
- ② コリント
- ③ イオニア
- ④ ドーリア

問3 下線部(3)の悲劇詩人として、誤っているものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

7

- ① エウリピデス
- ② アリストファネス
- ③ ソフォクレス
- ④ アイスキュロス

問4 下線部(4)の説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

8

- ① アレクサンドロスがペルシア帝国の討伐のために東方遠征を行った。
- ② アレクサンドロスの死後、その部下たちがディアドコイを称して互いに争った。
- ③ アレクサンドロスの築いた大帝国は、アンティゴノス朝マケドニア、セレウコス朝シリア、ファティマ朝エジプトなどに分裂した。
- ④ エジプトのアレクサンドリアが経済・文化の中心都市として発展した。

問5 下線部(5)のように共通語になったギリシア語の呼称として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

9

- ① アルマン
- ② ウラマー
- ③ オストラコン
- ④ コイナー

問6 下線部(6)の科学者とそれらの功績との組み合わせとして、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

10

- ① エウクレイデス — 線型代数学の大成
- ② アルキメデス — 浮体の原理の発見
- ③ アリスタルコス — 地球の公転の提唱
- ④ エラトステネス — 地球の周の長さの計測

3 次の図をみて、以下の問いに答えよ。



図A



図B



図C

問1 図Aは、パンづくりの彫刻である。約1万年前に麦の栽培が開始され、さらに6000年前頃にパンづくりが始まった地域の文明として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

11

- ① メソポタミア
- ② インダス
- ③ 黄河
- ④ メソアメリカ

問2 図Aに関連して、麦作地の周辺で生育していた偶蹄類の動物のうち、早くから家畜化されていたものとして、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

12

- ① 牛
- ② 豚
- ③ 羊
- ④ 馬

問3 図Bは、前7世紀ごろ黒海北岸を中心に国家を建設した遊牧民の姿である。この戦士たちとして、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

13

- ① 匈奴
- ② 突厥
- ③ ウイグル
- ④ スキタイ

問4 図Bに関連して、広義のシルク＝ロードのうち、中央ユーラシアにおいていくつもの広大な遊牧国家を通して交易・文化交流の役割を果たした最北のルートとして、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

14

- ① 草原の道
- ② オアシスの道
- ③ 海の道
- ④ 毛皮の道

問5 図Cは、秦の時代に統一されたことに関わる道具である。この道具に関わることとして、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

15

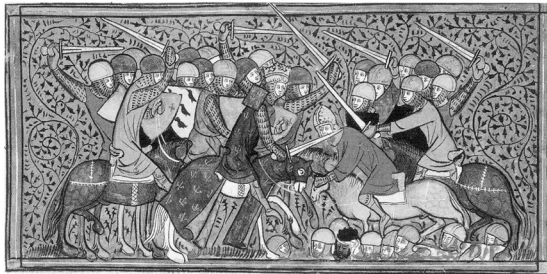
- ① 文字
- ② 度量衡
- ③ 貨幣
- ④ 車軌（車の両輪の幅）

問6 図Cに関連して、秦王政が実施したものとして、誤っているものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

16

- ① 皇帝の称号使用
- ② 郷挙里選
- ③ 郡県制
- ④ 焚書・坑儒

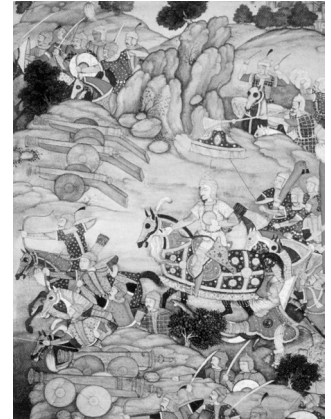
4 次の図をみて、以下の問いに答えよ。



図A



図B



図C

問1 図Aについて、フランク王国が戦ったアラブ側の国として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

17

- ① ウマイヤ朝
- ② アッバース朝
- ③ 後ウマイヤ朝
- ④ ファーティマ朝

問2 図Aの中央で王冠を被っているカール＝マルテルの説明として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

18

- ① アタナシウス派に改宗した。
- ② メロヴィング朝を開いた。
- ③ ランゴバルド王国を攻めた。
- ④ 彼の子のピピンがカロリング朝を開いた。

問3 図Bはモンゴル軍によるバクダード攻撃を描いたものであるが、アッバース朝を滅ぼした人物として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

19

- ① フレグ
- ② オゴデイ
- ③ バトゥ
- ④ チャガタイ

問4 図Bで描かれた戦いの後モンゴル軍によってイラン・イラクにたてられた国家の説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

20

- ① 当初、イスラーム教は軽視された。
- ② ガザン＝ハンはイスラーム教に改宗した。
- ③ トルコ系のマムルークを重用した。
- ④ 宰相によって歴史書『集史』が著された。

問5 図Cはムガル帝国成立のきっかけとなったパーニーパットの戦いが描かれているが、この戦いで敗れた国として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

21

- ① ロデイー朝
- ② サファヴィー朝
- ③ ゴール朝
- ④ ハルジー朝

問6 図Cの中央には馬上のバーブルが描かれているが、バーブルの説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

22

- ① カーブルを拠点として北インドに進出した。
- ② 戦いにおいて鉄砲や火器を使用した。
- ③ 『バーブル＝ナーマ』を著した。
- ④ マンサブダール制を導入した。

5 次の図 A および文章を読み、以下の問いに答えよ。



図 A

図 A は、浙江財閥の宋耀如の3人の娘である。左から次女の慶齡、長女の靄齡、三女的美齡である。長女の靄齡は、アメリカ留学から帰国すると、革命の父と呼ばれる孫文⁽¹⁾の秘書を務めた。1913年の第二革命が失敗すると、孫文とともに日本に渡る。1914年、のちに中華民國財政部長となる孔祥熙と横浜で結婚した。翌年、中国に戻り、抗日戦線に参加した。その後、渡米し、1973年、ニューヨークで死去。次女の慶齡は、1915年、東京で孫文と結婚。1925年、孫文は北京で病死するが、1926年、中国国民党中央執行委員に就任。しかし、蔣介石によって上海クーデタ⁽²⁾⁽³⁾が発生すると、彼を非難し、1929年には国民党を脱退した。1949年、国共内戦⁽⁴⁾が終結すると、台湾に逃れた蔣介石・宋美齡と行動を別にして中国大陸に残留した。1981年、北京で死去。死の数日前に国家名誉主席の称号が与えられた。三女の宋美齡は、1927年、国民党の指導者であった蔣介石と結婚。その後、蔣介石のスポークスマン、通訳として国際政治の表舞台⁽⁵⁾で影響力を発揮し続けた。しかし1975年4月に蔣介石が没すると、前妻ともうけた長男の蔣経国が国民党主席に就任。血のつながりのない息子が党内基盤を確立したことで、自らの政治的基盤の弱体化を予想した彼女は、同年に中華民国を去りアメリカに住居を移す。1986年、蔣介石生誕100周年記念行事の開催に合わせアメリカから帰国、再び台北に居を移し政治的影響力の回復を図るが、蔣経国による自由選挙の実施や戒嚴令の解除などの民主化の進展、さらに蔣経国の死後、台湾本省人である李登輝⁽⁶⁾の登場により、彼女の影響力は弱まっていった。2003年、マンハッタンの自宅で老衰のため死去。

問1 下線部(1)の説明として、誤っているものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

23

- ① 1894年、ハワイで中国同盟会を結成して清朝打倒の運動を始めた。
- ② 中国革命の理論と綱領として三民主義を提唱した。
- ③ 1912年、中華民國の臨時大統領に就任した。
- ④ 1924年、国共合作をおこない中国各地の軍事勢力（軍閥）の打倒を目指した。

問 2 下線部(2)の説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

24

- ① 孫文が設立した士官学校の校長を務めた。
- ② 1926年、国民革命軍総司令官に就任した。
- ③ 1928年、広州国民政府の主席となり、国民党の実権を掌握した。
- ④ 台湾に中華民国国民政府を樹立した。

問 3 下線部(3)の説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

25

- ① 帝国主義列強や資本家の働きかけに応じた反共クーデタ。
- ② 多数の共産党員や労働者を虐殺した。
- ③ 第2次国共合作は崩壊した。
- ④ 共産党の革命運動は都市から農村へ重点が移された。

問 4 下線部(4)の説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

26

- ① 日本の降伏後、国民党と共産党との間で再開された内戦。
- ② 国民党はソ連からの支援を受けたが、経済政策の失敗などにより支持を失い敗北した。
- ③ 共産党は支配地域で土地改革を行い、物資動員と兵員確保に成功した。
- ④ 内戦に勝利した共産党は中華人民共和国の成立を宣言した。

問 5 下線部(5)に関連して、ローズヴェルト、チャーチル、蔣介石、そして宋美齡も通訳として参加し、対日戦の協力、戦後処理を議題とした会議が開催された場所として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

27

- ① カイロ
- ② テヘラン
- ③ ヤルタ
- ④ ポツダム

問 6 下線部(6)の説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

28

- ① 台湾生まれの初の総統となった。
- ② 外交政策では、中国に対して強硬な姿勢を示し、対立を深めた。
- ③ 1992年、立法院委員（国会議員）選挙を行うなど民主化を進めた。
- ④ 1996年、最初の総統直接選挙で選ばれた。